

鹿児島県避難退域時検査等訓練について

1 主催等

(1) 主催

- ・ 鹿児島県
- ・ 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（JAEA）
（安全研究・防災支援部門原子力緊急時支援・研修センター）

(2) 協力

- ・ 九州電力株式会社

※ 本県の訓練に併せて、内閣府の受託事業により、JAEAの研修が行われ、他道府県等の職員が参加

2 実施場所

- ・ 九州共同株式会社トランクルーム1号館（資機材の保管庫）
- ・ 県立サッカー・ラグビー場（避難退域時検査等の検査場所）

3 参加者数

約50名

4 日程

令和6年10月31日（木）

訓練内容	場所
(1) 九州共同株式会社トランクルーム1号館において、県が保有する検査等用資機材をトラックへ積み込み、県立サッカー・ラグビー場へ運搬〔新規〕	九州共同株式会社トランクルーム1号館
(2) 講義（避難退域時検査等の概要－資機材の展開及び運用－）	県立サッカー・ラグビー場内のクラブハウス
(3) 演習1（資機材展開演習）〔新規〕	県立サッカー・ラグビー場内駐車場
(4) 演習2①（ゲート型モニタ展開演習）	〃
(5) 演習2②（車両検査運用演習）	〃

※ 積み込みや運搬、資機材の展開の様子については、記録動画用に撮影

5 訓練を通じて得られた主な成果や課題

(1) 成果

- ① 資機材の保管庫の管理者やトラック事業者との連絡体制，検査要員を確保する九電との連携体制を確認することができた。
- ② JAEAの指導のもと実地訓練を行うことにより，検査手順を確認し要員の習熟を図ることができた。

(2) 課題

- ① 要員が円滑に資機材を引き出すことができるように，使用資機材のチェックリストを整備する必要がある。
- ② 避難住民にとって検査手順が分かりやすいように，次の行き先を看板に示すなど検査動線を明示化する必要がある。

6 今後の対応

今回の訓練の結果を踏まえ，実施計画の見直しを行うとともに，今後の訓練の改善を図る。